

事業の実施計画と実施状況

事業計画	実施状況
<p><公益1> 県民スポーツ・文化推進事業 1,054,689 千円 (1,016,557 千円)</p> <p>1 競技力向上 347,268 千円 (321,660 千円)</p> <p>(1) とっとり競技力向上対策事業に基づき、本県の競技力の向上を図る。 222,457 千円 (214,081 千円)</p> <p>① 目指せトップアスリート! わかとりっ子育成事業 2,773 千円 (2,773 千円) スポーツに触れる機会を提供することで、興味を持つ子どもを一人でも多く発掘し、その後のジュニア育成・強化により、選手育成を図る。 (旧スポーツ好きな子どもを育むスポーツ体験事業) ※わかとりっこ体験会、スポーツフェスティバル</p> <p>② ジュニア育成のための競技者育成プログラム活用・実践事業 12,149 千円 (12,149 千円) ジュニア指導者講習会を開催することにより、県内指導者への周知を図る。また、カテゴリー別合同練習会を開催することにより、指導者の引き継ぎ・一貫性を充実させ、指導体制の強化を図る。(36 競技)</p> <p>③ ジュニアクラブチーム等の育成・支援事業 4,400 千円 (4,400 千円) 特定のジュニアクラブを指定し、クラブチームの育成・活性化・大会参加等について積極的な支援を行うことにより、本県の競技水準の維持向上の基盤を確立するとともに、優秀なジュニア選手の発掘及びジュニア層の強化支援を行う。(19 競技 22 クラブ)</p>	<p><公益1> 県民スポーツ・文化推進事業 1,020,607,426 円 (1,003,608,687 円)</p> <p>1 327,197,470 円 (319,575,180 円)</p> <p>(1) 221,259,868 円</p> <p>① 2,384,305 円 ・ とっとり Jr. スポーツフェス 2019 期 日 令和元年6月15日(土) 場 所 鳥取県民体育館 講 師 山本隆弘氏(バレーボール)、木下博之氏(バスケットボール) 岩淵幸洋氏(卓球) 参加者 159名(小学4年生から6年生44名、中学生115名) ・ わかとりっこ育成体験会 → 中止 期 日 令和2年3月20日(金) 場 所 鳥取県民体育館 対 象 小学生</p> <p>② 10,287,613 円 36 競技(陸上、水泳、サッカー、テニス、ボート、ホッケー、ボクシング、バレーボール、体操、バスケットボール、レスリング、セーリング、ハンドボール、自転車、ソフトテニス、卓球、相撲、馬術、フェンシング、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、剣道、ラグビーフットボール、山岳、カヌー、アーチェリー、空手道、なぎなた、ボウリング、ゴルフ、スキー、スケート、トライアスロン)</p> <p>③ 4,465,073 円 19 競技 22 クラブ(水泳2、ボート2、ホッケー、ボクシング、バレーボール、体操、レスリング、ハンドボール、自転車、相撲、フェンシング、ライフル射撃、ラグビーフットボール、山岳、カヌー2、空手道、ボウリング、スケート、トライアスロン)</p>

- ④運動部活動活性化事業 28,074千円(25,577千円)
- ・中学生選抜選手育成・強化支援 7,471千円(6,873千円)
競技団体と中体連専門部が主体となり、県内の中学生から強化選手を選抜して事業を実施することにより、中長期的な選手育成と強化を図る。
※中体連全専門部に対する事業実施(20競技)
 - ・高等学校運動部指定合宿等支援 7,050千円(6,687千円)
各高等学校における運動部活動の振興、それに伴う学校の活性化を目的にして各競技の運動部を指定し、強化合宿等支援を行う。
※A指定、B指定、C指定に区分をし、配分。
 - ・高等学校運動部指定特別指導者確保支援 5,708千円(5,708千円)
指定校へ指導者配置の支援を行うことにより、競技力の向上を図る。
※城北：相撲、敬愛：バドミントン
 - ・高等学校運動部指定外部指導者支援 7,845千円(6,309千円)
各高等学校における指定運動部の外部指導者に対する支援を行うことにより、競技力の向上を図る。

⑤県外等優秀アスリート受入支援事業 1,500千円(900千円)
県外高校生推薦入試制度により、本県の県立高校へ入学する県外アスリートの受入体制の支援を行う。 @25千円×12月×5人(ホッケー競技)

⑥特別ジュニア選手指定強化事業 36,996千円(42,819千円)
各競技団体が指定する国体等強化指定選手に対して県内外の強化合宿等に要する経費を補助し、強化事業を展開することによって、国体をはじめとする各種全国大会等での成績向上を図る。(26競技 28種目)

⑦(新)鳥取ジュニアアスリート選手育成強化事業 8,944千円(0千円)
県直轄の鳥取ジュニアアスリート発掘事業で認定された選手に対する強化育成。特別ジュニア選手指定強化事業から抽出。(10競技)

④ 26,801,303円
・7,446,745円
19競技 20専門部(陸上、水泳、サッカー、ホッケー、バレーボール、体操、新体操、バスケットボール、ハンドボール、ソフトテニス、卓球、軟式野球、相撲、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、剣道、スキー、スケート)

・6,576,629円
25校 31競技 79部
A指定：37部 B指定：8部 C指定：34部

・5,706,646円
2校 2競技 2名
鳥取城北高等学校 相撲 レンツェンドルジ・ガントウクス
鳥取敬愛高等学校 バドミントン 日野由希江

・7,071,283円
外部指導者支援 17校 37名

⑤ 1,500,000円
県外推薦入試により、八頭高校(ホッケー部)に5名受入

⑥ 37,906,166円
27競技(陸上、水泳、テニス、ボート、ボクシング、バレーボール、体操、レスリング、セーリング、ウエイトリフティング、自転車、相撲、馬術、フェンシング、バドミントン、弓道、ライフル射撃、山岳、カヌー、アーチェリー、空手道、銃剣道、ボウリング、ゴルフ、スキー、スケート、トライアスロン)

⑦ 7,781,102円
10競技(ボート、ホッケー、レスリング、セーリング、自転車、ライフル射撃、山岳、カヌー、アーチェリー、空手道、)

⑧指導者の育成事業 3,537千円(3,537千円)

全国トップレベルの指導者の元に派遣、又は国内外の優秀コーチを招へい訪問等行い、県内の指導者の指導力向上を図る。(24競技 25種目)

⑨大学部指定強化事業 550千円(450千円)

協定により大学運動部を指定し、強化事業を実施する。

※A～Dの4区分に分け、国体強化につながる部の支援を優先する。

⑩社会人等選手指定強化事業 25,012千円(25,012千円)

各競技団体が指定する国体等強化指定選手に対して県内外の強化合宿等に要する経費を補助し、集中的な強化事業を展開することによって、国体をはじめとする各種全国大会等での成績向上を図る。(27競技 28種目)

⑪成年団体競技強化チーム事業 1,519千円(1,519千円)

県内において高い競技力を持った社会人クラブチームを指定し、対外試合を中心とした県外遠征に対して補助を行う。

※チアフル鳥取(バドミントン)・米子クラブ(アイスホッケー)へのチーム支援。

⑫優秀選手確保事業 3,000千円(3,098千円)

成年期の競技力向上のために、県外の優秀選手を雇用する県内企業等に補助をする。@1,000千円×3名

⑬特別指定競技国体強化事業 16,044千円(20,421千円)

競技を指定して、県内外の強化合宿等に要する経費を補助し、集中的な強化事業を展開することにより、国体等での成績向上を図る。

⑭医・科学サポート事業 4,192千円(4,192千円)

スポーツ医科学講習会等事業

医事・栄養・ドーピングを含むトレーナー育成関係の講習会の開催や、

⑧ 2,626,789円

22競技(陸上、水泳、サッカー、ボート、ホッケー、ボクシング、レスリング、セーリング、ウエイトリフティング、自転車、ソフトテニス、相撲、馬術、ソフトボール、弓道、ライフル射撃、山岳、カヌー、アーチェリー、空手道、ボウリング、スキー)

⑨ 350,000円

2校6部

鳥取大学(ボート、アイスホッケー、ソフトテニス、陸上、ラグビー)
米子工業高等専門学校(ヨット)

⑩ 25,858,303円

26競技(陸上、水泳、ボート、ボクシング、体操、レスリング、セーリング、ウエイトリフティング、自転車、相撲、馬術、フェンシング、バドミントン、弓道、ライフル射撃、山岳、カヌー、アーチェリー、空手道、銃剣道、クレール射撃、ボウリング、ゴルフ、スキー、スケート、トライアスロン)

⑪ 1,519,000円

2競技2クラブ

バドミントン(チアフル鳥取)
アイスホッケー(米子アイスホッケークラブ)

⑫ 2,000,000円

2名(バドミントン)

⑬ 16,616,804円

8競技(サッカー、ホッケー、体操、バスケットボール、ソフトテニス、軟式野球、ソフトボール、ラグビーフットボール)

⑭ 3,794,640円

26競技(陸上、水泳、サッカー、ボート、ホッケー、ボクシング、体操、バスケットボール、レスリング、セーリング、ウエイトリフティング、自転車、ソフト

栄養知識及び普及に関する講習会の開催のほか、筋力トレーニング等の充実・県内外スポーツ診療関連施設への選手派遣を行い、マルチサポート体制の充実を図る。

※県内外医療施設受診、乳酸測定器消耗品の購入、動作解析等先進地の視察、栄養サポート講習会、指導者クリニック等

⑮強化練習用消耗品等対策事業 17,301千円(16,513千円)

国民体育大会に参加する上で、消耗品・使用料・作曲料・運搬料等において、その特殊性を考慮し補助を行う。

⑯安全管理対策事業 1,591千円(1,490千円)

国体候補選手のスポーツ安全保険への加入を補助することにより、強化事業に専念できる体制を整える。

⑰国体等強化備品整備 35,745千円(34,386千円)

国体等強化備品の整備を行う。

※【陸上】棒高跳屋外シート・スピリットポール、【ボート】シングルスカル男子用・シングルスカル女子用・艇運搬用トレーラ

テニス、相撲、馬術、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、ラグビーフットボール、山岳、カヌー、アーチェリー、空手道、ボウリング、トライアスロン)

・トレーナー養成講習会

第1回 平成31年4月20日(土)倉吉体育文化会館 43名参加

第2回 令和元年11月23日(土)倉吉体育文化会館 27名参加

第3回 令和2年1月12日(日)倉吉体育文化会館 22名参加

・チームドクター派遣(24回)

・指導者クリニック

令和元年12月15日(日)鳥取県民体育館 44名参加

・メンタルサポート講習会

令和2年2月8日(土)倉吉体育文化会館 65名参加

・鳥取県スポーツ版人間ドックの受診(会場:YMC A米子医療福祉専門学校)

第1回 令和元年8月31日(土)ボート 11名参加

第2回 令和元年12月8日(日)バドミントン 10名参加

第3回 令和2年2月11日(火)ボート 12名参加

第4回 令和2年2月29日(土)バドミントン 中止

⑮ 16,882,240円

12競技(水泳、ボート、体操、セーリング、自転車、馬術、山岳、カヌー、クレール射撃、スキー、スケート、アイスホッケー)

⑯ 1,424,860円

36競技(陸上、水泳、サッカー、ボート、ホッケー、ボクシング、バレーボール、体操、バスケットボール、レスリング、セーリング、ウエイトリフティング、ハンドボール、ソフトテニス、卓球、軟式野球、相撲、馬術、フェンシング、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、剣道、ラグビーフットボール、山岳、カヌー、アーチェリー、空手道、銃剣道、クレール射撃、ボウリング、スケート、アイスホッケー、トライアスロン)

⑰ 36,181,860円

17競技

(陸上、水泳、ボート、体操、レスリング、セーリング、自転車、フェンシング、ソフトボール、バドミントン、ライフル射撃、剣道、山岳、カヌー、アー

ー・艇運搬車・ボートラック、【体操】トランポリンベッド・測定システム、【レスリング】タイマー一式・レスリングマット、【セーリング】レーザーラジアル級ヨット、【自転車】ワットバイクプロ・ディスクホイールリア・バトンホイールフロント・トラックレーサー完成車・ロードホイール・ロードレーサー・練習用ローラー台、【フェンシング】電気審判器セット、【バドミントン】シャトルノックマシーン、【ライフル射撃】エアライフル銃・ビームライフル銃、【カヌー】スラロームK-1艇・スプリントK-1艇、【アーチェリー】防矢ネット、【ソフトボール】簡易式内野フェンス一式・外野ネットフェンス、【山岳】iPad Pro・タイマー一式、【剣道】胴、【トライアスロン】スイミングエルゴメーター・ロードバイク、【スケート】スピードユニホーム

⑱公認指導者資格取得・更新補助事業 97千円(97千円)
国民体育大会の監督資格要件として必要な日本体育協会公認指導者資格の取得及び更新に係る経費の1/2補助を実施する。

⑲強化推進事業 17,517千円(16,005千円)
・強化推進事業費(事務費) 1,080千円(1,080千円)
競技団体との連絡・調整・指導等
・競技力向上担当人件費 16,437千円(14,925千円)
競技力向上対策事業を受託執行するための3名の人件費

⑳わかとり国体開催記念スポーツ振興事業 1,516千円(1,516千円)
【募集関係】
ア 情報収集活動事業
国体で入賞が期待される競技の指導者等を各種大会等へ派遣し、全国の競技力等の調査・分析を行うための経費を助成する。

イ 強化用消耗品・備品等整備事業
県の競技力向上対策事業費で措置されていない消耗品及び備品購入のための経費を競技団体に助成する。

チェリー、トライアスロン、スケート)

⑱ 64,900円
3競技4人(ホッケー1、セーリング1、卓球2)

⑲ 21,580,222円
・各種委員会の開催、競技団体との意見交換会等に係る経費、その他事務費。
2,121,959円
・3名配置 19,458,263円

⑳ 1,234,688円
ア 3競技4事業。
(ボート、自転車、バドミントン)

イ 実施なし。

【激励関係】

ウ オリンピック等出場選手激励事業
本県選手・本県出場選手に対し、激励金を交付する。

エ 国民体育大会入賞奨励金支給事業
国民体育大会において入賞した競技(種別)に対し報奨金を支給する。

【その他】

オ 強化推進費
鳥取県体育協会が競技力向上を推進していくために必要となる経費を助成する。

(2) 国体予選会の開催及び国体等の選手団派遣を行う。

99,516千円(88,849千円)

①国体予選会の開催 2,716千円(2,694千円)

国体選手選考のための県予選会の開催を競技団体へ委託する。

②中国ブロック大会及び全国予選会への選手団派遣

32,031千円(32,000千円)

主に島根県で開催される国民体育大会中国ブロック大会及び西日本(予選)で開催予定の全国予選会へ選手団を派遣する。

期 日 令和元年5月～12月

会 場 島根県内の各会場等

競技種目 水泳(水球)他31競技

③第74回本国体及び第75回冬季大会への選手団派遣

63,482千円(52,868千円)

・茨城県で開催される第74回国民体育大会(会期前・本大会)に選手団を派遣する。

ウ オリンピック等の該当大会なし。

エ 16競技42種目入賞。

(陸上、水泳、ボート、ホッケー、バレーボール、レスリング、セーリング、ウエイトリフティング、自転車、相撲、馬術、バドミントン、ライフル射撃、カヌー、空手道、スキー)

オ 競技団体への激励品等を支給。

(2) 83,653,082円

① 2,540,058円

国体選手選考のための県予選会を競技団体へ委託。 40競技

② 29,423,174円

国民体育大会中国ブロック大会

期 日 令和元年5月25日(土)～8月25日(日)31競技

冬 季 令和元年12月7日(土)～12月8日(日)1競技

会 場 島根県内の各会場等

競技種目 水泳(水球)他31競技

・フィギュアスケート競技全国予選会

期 日 令和元年12月7日(土)～12月8日(日)1競技

会 場 ALSOKぐんまアイスアリーナ(群馬県)

③ 50,418,418円

茨城県で開催された本大会に選手団を派遣。

(会期前大会)

期 日 令和元年9月7日(土)～9月16日(月)

(本大会及び会期前)

期 日 令和元年9月28日(土)～10月8日(火)

※会期前実施競技は令和元年9月7日(土)～9月16日(月)

競技種目 陸上競技他 36 競技

・第75回冬季大会に選手団を派遣する

(スケート・アイスホッケー競技)

期 日 令和2年1月29日(水)～2月2日(日)

場 所 青森県八戸市他

(スキー競技)

期 日 令和2年2月16日(日)～2月19日(水)

場 所 富山県南砺市他

④国体等派遣選手指導費 1,287千円(1,287千円)

県内外の各種大会や強化事業に出向き、競技団体との情報交換、戦力分析や競技力向上のための情報収集活動を行う。

(3) 競技力向上のための指導者確保事業 12,425千円(11,092千円)

鳥取県の競技力向上のため、優秀な指導者を確保し、指導体制の充実を図るとともに、専門性を生かしながらトップアスリートの育成を図る。

※ホッケー競技・セーリング競技

(4) JOC競技別強化拠点(セーリング・クライミング)整備等事業

・コーチングスタッフの確保 11,560千円(6,328千円)

JOC競技別強化センターとして認定を受けた境港公共マリナーナ及び倉吉体育文化会館における競技力向上のための機能や利便性の向上を図るために必要な整備を行う。

(5) アンチ・ドーピング教育・啓発事業(日ス協委託事業)

競技種目 水泳、バレーボール、体操 3 競技 55 名派遣

(本国体)

期 日 令和元年9月28日(土)～10月8日(火)

競技種目 陸上競技 他 25 競技 287 名派遣

天皇杯順位 43 位 競技得点 314 点

・第75回冬季大会へ選手団を派遣。

(冬季大会 スケート・アイスホッケー競技)

期 日 令和2年1月29日(水)～2月2日(日)

場 所 スケート競技(青森県八戸市、三沢市)

アイスホッケー競技(青森県八戸市、南部町)

競技種目 スケート、アイスホッケー競技 派遣なし

(冬季大会 スキー競技)

期 日 令和2年2月16日(日)～2月19日(水)

場 所 富山県南砺市

競技種目 スキー競技 1 競技 41 名派遣

④ 1,271,432円

県内外の各種大会や強化事業に出向き、競技団体との情報交換、戦力分析や競技力向上のための情報収集活動を行った。

(3) 11,430,923円

体育指導員(ホッケー、セーリング)2名配置

(4) 10,139,849円

体育指導員(セーリング、クライミング)2名配置

(5) 119,210円

200 千円 (200 千円)

- ・指導者、選手を対象とした講習会を開催する。
- ・アンチ・ドーピングに関する啓発を行う。

(6) 賛助会費事業 1,110 千円 (1,110 千円)

①大学生トップアスリート支援事業 600 千円 (300 千円)

大学に進学したトップアスリートに競技を継続してもらうため、支援を行う。

②ジュニア期の一貫指導・育成支援事業 400 千円 (420 千円)

全国での入賞実績のない高校運動部を指定し、全国レベル到達を目的に支援を行う。

③総合型地域スポーツクラブ育成支援事業 50 千円 (150 千円)

総合型地域スポーツクラブが指導者を招聘して教室開催等を行うことにより、会員確保やクラブ活性化を図る。

④賛助会員体育施設利用券の発行 100 千円 (200 千円)

鳥取県体育協会が管理する指定管理及び所有する施設の利用券を交付する。

⑤賛助会運営費 30 千円 (0 千円)

鳥取県体育協会が賛助会費を運営していくために必要となる経費。

ドーピング講習会

1 回目 令和元年 8 月 27 日 (火) 鳥取県民体育館 第 3・4 研修室 46 名

2 回目 令和元年 9 月 18 日 (水) 鳥取県民体育館 メインアリーナ 145 名

(6) 594,538 円

① 210,000 円

国体で入賞した大学生へ贈呈

5 競技 7 名 (陸上 1、レスリング 1、自転車 3、ライフル射撃 1、カヌー 1)

② 340,000 円

13 校 17 部

③ 30,000 円

事業実施クラブ及び実施内容

○青谷スポーツクラブ

→多世代で障がい者も参加できるトランポロボックス

○山陰リンクの会

→ジュニアバドミントン教室

○ウルトラスポーツクラブ

→サッカー教室

④ 6,620 円

発行枚数：339 枚 (団体 292 枚、個人 47 枚)

利用枚数：13 枚 (布勢 6 枚 産体 4 枚 皆生 3 枚)

⑤ 7,918 円

表彰に係る諸経費等

2 生涯スポーツ推進 50,575 千円 (52,352 千円)

(1) 広域スポーツセンター事業 26,876 千円 (26,716 千円)

① 総合型地域スポーツクラブ運営改善事業 320 千円 (230 千円)

総合型地域スポーツクラブが抱える問題を解消するため、クラブ創設・運営に関する指導者を派遣し、運営改善を図る。

② クラブアドバイザー配置事業 5,492 千円 (5,007 千円)

クラブ設立・運営支援等を行うためクラブアドバイザーを配置する。

③ クラブマネジャー研修事業 120 千円 (120 千円)

総合型地域スポーツクラブ、市町村教育委員会、スポーツ推進委員を対象としたクラブ運営に関する研修またはクラブマネジャー資格取得講習会を行う。

④ (新)親子 de スポーツ推進事業 762 千円 (0 千円)

子育て世代の県民の運動・スポーツ習慣の低下傾向に歯止めをかけるため、身近な地域において子供と一緒に運動めスポーツに親しむ機会を享受することを通じて、県民のスポーツをする意識の高揚を図るため、総合型地域スポーツクラブに委託し、親子で楽しめる運動教室等を実施する。

2 44,614,341 円 (46,835,634 円)

(1) 26,120,345 円

① 153,964 円

・研修会

日時 令和元年 8 月 3 1 日 (土) 10:00~16:00

場所 伯耆しあわせの郷

講師 松田 雅彦 氏 (大阪教育大学附属高校平野校舎 教諭)

内容 総合型地域スポーツクラブの課題を考える講演とワークショップ

参加者 17 名

・指導者派遣

対象 国府クラブ、けたかスポーツクラブ

日時 令和 2 年 1 月 2 6 日 (日)

場所 宮ノ下公民館研修室

講師 松田 雅彦 氏 (大阪教育大学附属高校平野校舎 教諭)

内容 クラブ役員ヒアリング、会員等との意見交換、クラブ指導

② 4,666,732 円

1 名配置

③ 137,535 円

研修会

日時 令和元年 6 月 8 日 (土)、9 日 (日)

場所 倉吉体育文化会館

講師 板 真悟 氏 (スポ net なんぶ)

渡辺 泰弘 氏 (広島経済大学准教授)

内容 ・クラブマネジャーの役割、クラブの運営

・総合型地域スポーツクラブとは、クラブの現状、クラブの作り方

受講者 6 名

④ 747,855 円

○実施 5 クラブ (実施内容)

・かほくスポーツクラブ (クライミング体験、高原サイクリング、親子スキー 等)

・ウルトラスポーツクラブ (サッカー教室、トランポ・ロビクス)

・ほうきスマイリースポーツクラブ (親子ヨガ、カヌー体験 等)

⑤鳥取県スポーツ情報サイト運用・保守料等事業 776千円(636千円)
県内スポーツ施設、スポーツイベント、鳥取へのアクセスマップ及び宿泊施設等の情報に加え、各種支援制度をまとめた専用サイトを運用する。

⑥第20回県民スポーツ・レクリエーション祭開催事業
7,911千円(7,701千円)
広く県民にスポーツ・レクリエーション活動を全県的な規模で実践する場を供することにより、県民一人一人に参加意欲を喚起し、県内各地で生涯を通じたスポーツ・レクリエーション活動の活性化を進める。

- ・夏季大会 5種目
期 日 令和元年8月24日～25日
会 場 西部地区中心に全県で開催
- ・秋季大会 33種目
期 日 令和元年10月26日～27日
会 場 西部地区中心に全県で開催
- ・冬季大会 5種目
期 日 令和2年2月9日
会 場 西部地区中心に全県で開催

⑦大韓民国江原道とのスポーツ交流事業 5,500千円(3,683千円)
本県体育協会と江原道体育会との協定(2001年11月6日協定)に基づき、両県道のスポーツ交流を行い、競技力の向上と友好親善を図る。
令和元年度は江原道が鳥取県を訪問。

【スポーツ交流大会 3競技】

- ・バレーボール(少年男女)・柔道(少年男女)
- ・バドミントン(成年男女)

期 日 令和元年12月(予定)

参加者 3競技の監督、選手、体協役員等

⑧広域スポーツセンター人件費 6,566千円(7,295千円)
広域スポーツセンターの事業を受託執行するための1名分の人件費。

- ・スポーツしよい大山(親子でバドミントン教室)
- ・けたかスポーツクラブ(ニュースポーツ体験)

⑤ 776,138円
スポーツ施設、スポーツイベント、宿泊施設等の情報を掲載。

⑥ 7,177,287円

- ・夏季大会 5種目
期 日 令和元年8月24日～25日
会 場 鳥取県営東山水泳場、他4会場
参加人数 1,137名(前年度1,160名)
- ・秋季大会 33種目
期 日 令和元年10月26日～27日
会 場 西部地区を中心に開催
参加人数 8,317(前年度8,345名)
- ・冬季大会 4種目(スキー競技は中止)
期 日 令和2年2月上旬
会 場 鳥取県民体育館 他3会場
参加人数 527名(前年度648名)
※コロナ対策のためスキー大会を中止

⑦ 6,216,403円
大韓民国江原道とのスポーツ交流事業

実施競技 バレーボール(高校女子)、柔道(高校男女)、バドミントン(成年男女)

期 日 令和元年12月6日(金)～12月10日(火)

開催場所 バドミントン、バレーボール(鳥取産業体育館)柔道(鳥取市武道館)

参加者 鳥取県選手団66名
江原道選手団45名

⑧ 5,244,431円
1名配置

⑨関西シニアマスターズ大会鳥取大会 1,000 千円

「ワールドマスターズゲームズ 2021 関西」の開催を控え、生涯スポーツの機運を高めるとともに、中高年層のスポーツ参加機会の拡充を図るため、7 関西広域連合と鳥取県の共催により実施する。

【期 日】

・10月26日(土)、27日(日)

【実施競技】 7 競技

・卓球、サッカー、グラウンドゴルフ、ペタンク、ソフトテニス、テニス、インディアカ

【開催場所】

・布勢総合運動公園 他4会場

(2) 体協表彰事業 2,000 千円 (2,000 千円)

スポーツ振興を図るため、表彰規程に基づき本県スポーツの発展に功績のあった者、優秀な選手を育成した指導者、全国大会等で優秀な成績を挙げた選手について、選考委員会の審議により表彰者を決定し、表彰する。

期 日 令和2年2月22日(土)

場 所 白兔会館

【表彰内訳】

体育功労章	若干名
優良団体賞	数団体
優秀指導者賞	若干名
特別賞	国際大会出場者等
スポーツ賞	全国大会等上位入賞
スポーツ敢闘賞	全国大会等下位入賞
スポーツ奨励賞	全国規模大会入賞者

(3) 公認コーチ養成事業 1,592 千円 (1,573 千円)

①公認コーチ養成講習会の開催 (日本スポーツ協会委託事業)

1,106 千円 (1,106 千円)

・公認コーチ養成講習会 2 競技 (ソフトボール、スポーツクライミング)

⑨ 1,000,000 円

【期 日】

・10月26日(土)、27日(日)

【実施競技】 7 競技

・卓球、サッカー、グラウンドゴルフ、ペタンク、ソフトテニス、テニス、インディアカ

【開催場所】

・布勢総合運動公園 他4会場

【参加人数】

1,281名

(2) 1,683,303 円

令和元年度鳥取県体育協会表彰

期 日 令和2年2月22日(土)

場 所 白兔会館飛翔の間

【表彰者内訳】

体育功労章	5名
優良団体賞	2団体
優秀指導者賞	6名
特別賞	6名
スポーツ賞	個人51名、団体13チーム
スポーツ敢闘賞	個人59名、団体10チーム
スポーツ奨励賞	個人35名、団体6チーム

(3) 1,395,132 円

公認コーチ養成事業

① 1,006,590 円

公認コーチ養成講習会の開催

・ソフトボール

参加申込者 16 名 (令和元年 12 月 1 日(日)～12 月 22 日(日)の 5 日間で実施)

・スポーツクライミング

参加申込者 16 名 (令和元年 11 月 16 日(土)～12 月 8 日(日)の 4 日間で実施)

②公認コーチ育成事業（日本スポーツ協会委託事業）

486千円（467千円）

- ・スポーツ指導者研修会の開催 年2回
- ・指導者育成関係事業事務費

(4) スポーツ少年団の育成（日本スポーツ協会助成事業等）

5,344千円（6,486千円）

①県競技別交流大会開催事業 612千円（610千円）

各地区を代表するスポーツ少年団による県交流大会の開催

・軟式野球交流大会

期 日 令和元年7月27日（土）、28日（日）

会 場 米子市 淀江球場

・ミニバスケットボール交流大会

期 日 令和元年8月上旬

会 場 米子産業体育館

・剣道交流大会

期 日 令和元年10月27日（日）

会 場 名和トレーニングセンター

・バレーボール交流大会

期 日 令和元年12月15日（日）

会 場 境港市民体育館

②中国ブロックスポーツ少年大会・リーダー研究大会開催事業

790千円（636千円）

各県を代表するスポーツ少年団員及びリーダーの交流及び研修

期 日 令和元年8月16日（金）～18日（日）

会 場 船上山少年自然の家、倉吉スポーツライミングセンター
（倉吉体育文化会館）

② 388,542円

公認コーチ育成事業

- ・第1回 令和元年6月30日（日）倉吉体育文化会館（参加者数132名）
- ・第2回 令和元年11月3日（日）倉吉体育文化会館（参加者数105名）

(4) 4,530,374円

① 520,219円

・軟式野球交流大会

期 日：令和元年7月27日（土）

会 場：淀江運動公園 淀江球場

参加チーム数：4チーム（東部2・中部1・西部1）

参加者数：102名

・ミニバスケットボール交流大会

期 日：令和元年8月11日（日）

会 場：米子産業体育館（メインアリーナ）

参加チーム数：12チーム（男子6・女子6）

参加者数：197名

・剣道交流大会

期 日：令和元年10月27日（日）

会 場：名和農業者トレーニングセンター

参加者数：93名

・バレーボール交流大会

期 日：令和元年12月15日（日）

会 場：境港市民体育館

参加チーム数：男女12チーム（東部4・中部4・西部4）

参加者数：151名

② 804,000円

期 日：令和元年8月16日（金）～8月18日（日）

会 場：船上山少年自然の家、倉吉スポーツライミングセンター（倉吉体育文化会館）

参加者数：52名

③中国大会派遣事業 215 千円 (198 千円)
各県で開催される中国ブロック競技別交流大会へ本県代表のスポーツ少年団を派遣する。

④全国大会派遣事業 406 千円(506 千円)
全国で開催されるスポーツ少年団交流大会へ本県代表のスポーツ少年団を派遣する。

⑤中央講習会派遣事業 12 千円 (40 千円)
将来の指導者の養成や認定員の資質向上を目的とした研修会等へ派遣
・シニアリーダースクール
・認定育成員研修会 (スタートコーチ (スポーツ少年団) インストラクター移行研修会)

③ 149,037 円
・バドミントン
期 日：令和元年 8 月 17 日(土)～18 日(日)
会 場：山口県スポーツ交流村
参加団：小鴨スポーツ少年団 (倉吉市) 6 名参加 (指導者 1 名、団員 5 名)
・卓 球
期 日：令和元年 10 月 19 日(土)～20 日(日)
会 場：公益財団法人岡山県スポーツ協会玉野スポーツセンター
参加団：琴浦卓球スポーツ少年団 (琴浦町) 4 名参加 (指導者 1 名、団員 3 名)
・男子バレーボール
期 日：令和元年 10 月 26 日(土)～27 日(日)
会 場：国立三瓶青少年交流の家
参加団：淀江スポーツ少年団 (米子市) 12 名参加 (指導者 3 名、団員 9 名)

④ 4,188 円
全国大会派遣事業
・第 42 回全国スポーツ少年団剣道交流大会
(新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)
期 日：令和 2 年 3 月 27 日(金)～3 月 29 日(日)
開催地：長野県
派遣予定団：大山町剣道スポーツ少年団 (大山町)
・第 17 回全国スポーツ少年団バレーボール交流大会
(新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)
期 日：令和 2 年 3 月 27 日(金)～3 月 30 日(月)
開催地：岐阜県
派遣予定団：社バレーボールスポーツ少年団 (倉吉市)

⑤ 9,240 円
・スタートコーチ (スポーツ少年団) インストラクター移行研修会
期 日：令和元年 11 月 3 日(日)
会 場：TKP ガーデンシティ岡山 カンファレンスルーム 4J
派遣者：2 名
・スタートコーチ (スポーツ少年団) インストラクター養成講習会
期 日：令和元年 11 月 23 日(土)～24 日(日)
会 場：Japan Sport Olympic Square 内会議室

⑥スポーツリーダー養成講習会兼スポーツ少年団認定員養成講習会の開催 366千円(490千円)

単位団運営において最低2名以上必要な、スポーツ少年団認定員資格及び日本体育協会公認スポーツリーダー資格を取得できる講習会の開催

期日：令和元年11月16日(土)～17日(日)

会場：鳥取県立倉吉体育文化会館

⑦ジュニア・リーダースクール開催事業 124千円(124千円)

日本スポーツ少年団リーダー制度におけるジュニア・リーダー資格を取得できる講習会の開催

期日：令和2年1月25日(土)～26日(日)

会場：鳥取県立大山青年の家

⑧地区別交流大会開催事業 451千円(601千円)

本県東・中・西部地区の市町村で開催される交流大会費用を助成。

⑨地区別指導者研修費 294千円(391千円)

本県東・中・西部地区の市町村で開催される指導者研修費用を助成。

⑩スポーツ少年団本部運営事業 2,074千円(2,056千円)

派遣者：1名

⑥ 348,600円

・期日：令和元年11月16日(土)～11月17日(日)

会場：鳥取県立倉吉体育文化会館

受講者：63名

⑦ 118,123円

・期日：令和2年1月18日(土)～1月19日(日)

会場：鳥取県立大山青年の家

参加者数：38名

⑧ 438,853円

・各地区150千円を助成。

⑨ 240,243円

・各地区97千円を助成。

⑩ 1,897,871円

・委員総会

第1回委員総会 令和元年6月18日(火)・倉吉体育文化会館

第2回委員総会 令和2年3月27日(開催予定)新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

・令和元年度スポーツ少年団登録数

指導者登録数：716名(前年度718名)

団員登録数：2,980名(前年度3,019名)

市区町村役職員登録数：63名(前年度59名)

都道府県役職員登録数：4名(前年度5名)

(5) スポーツ安全保険業務 4,634千円 (4,571千円)
公益財団法人スポーツ安全協会と業務及び経費について協定を交わし、スポーツ安全保険業務を行う。

(6) 施設基金実施事業 10,129千円 (11,006千円)

①因幡・但馬ジオパーク地域スポーツ交流事業 585千円 (585千円)
兵庫県但馬地区と鳥取県因幡地区の小学生・中学生による陸上競技の交流を目的とした対抗選手権大会の開催経費補助。

②ガイナレ鳥取支援事業 101千円 (301千円)
ガイナレ鳥取に対し、県体協としても可能な支援を行い、本県スポーツの充実を図るとともに地域活性化に寄与する。

③布勢スプリント開催事業 601千円 (601千円)
布勢総合運動公園において開催される「布勢リレーカーニバル兼スプリント挑戦記録会 IN TOTTORI」に各種目のトップアスリートを招待することにより、子どもたちに夢や感動を提供することに寄与する。
・招待選手：調整中

④鳥取県体育協会創立100年記念事業 4,058千円 (7,861千円)
鳥取県体育協会体育協会史事業 4,058千円 (2,000千円)
鳥取県体育協会の歴史を後世に残していくため、鳥取県体育協会史の発刊を行う。
発刊：令和元年度を予定

(5) 4,634,000円
協定期間 平成31年4月1日～令和2年3月31日
加入団体数：1,456団体
加入者数：45,301人
掛金合計：50,278,300円

(6) 4,077,237円
① 488,985円
因幡・但馬ジオパーク地域交流事業の実施
日 時 令和元年8月11日(日)
会 場 コカ・コーラボトラーズジャパンスポーツパーク陸上競技場
参加者 選手208名(因幡105名、但馬103名)

② 100,110円
ガイナレ鳥取への支援
クラブスポンサーとして支援。

③ 600,648円
布勢スプリント
日 時 令和元年6月2日(日)
会 場 コカ・コーラボトラーズジャパンスポーツパーク陸上競技場
主な招待選手 ■男子100m 桐生祥秀、白石黄良々、猶木雅文
■男子110mH 高山峻野、石川周平、矢澤航
■女子100m 土井杏南、和田麻希、世古和
■女子110mH 木村文子、清山ちさと、青木益未
参加選手629名

④ 1,366,963円
・鳥取県体育協会史編集委員会の開催
第6回編集委員会 令和元年6月21日(金)
第7回編集委員会 令和元年9月24日(火)
第8回編集委員会 令和元年12月19日(木)
・編集作業
執筆者が作成した原稿を編集委員が担当責任部分を見直し、加筆修正を加

<p>⑤備品整備事業 283 千円 (283 千円) 県民スポーツ・文化推進事業を円滑に行えるよう、備品の整備を行う。 ・公用車（軽自動車）の維持・修繕等</p> <p>⑥2020 東京オリパラ・世界選手合宿誘致事業 4,501 千円 (201 千円) 東京オリ・パラキャンプ誘致に係る開催市町村への負担</p> <p>(7) 布勢必備器具等賃借事業 2,176 千円 (1,639 千円) 布勢スプリント開催に必要な器具の賃借等を行う。</p>	<p>え、改めて監修者に意見を聞いたうえで、印刷委託業者に原稿を渡した。 発刊を令和2年度に変更。</p> <p>⑤ 88,315 円 公用車の法定点検等整備</p> <p>⑥ 1,432,216 円 倉吉市東京オリ・パラリンピック実施委員会に対し、総額の1/6を負担。 境港市東京オリ・パラキャンプ実施委員会に対し、総額の1/6を負担。</p> <p>(7) 2,173,950 円 令和元年6月2日(日)開催の布勢スプリントにおいて必要な器具の賃借等 を実施。 賃貸借物件等 : ・写真判定装置 ・報道用仮設ハウス ・仮設ハウス電源工事</p>
---	--

指定管理施設 運営状況一覧

令和2年3月31日現在

	公益事業 + 収益事業					収益事業	合計
	鳥取県立 布勢総合運動公園	鳥取県立 鳥取産業体育館 鳥取県営 鳥取屋内プール	米子市 皆生市民プール	鳥取県立 米子産業体育館	鳥取県立武道館	鳥取県立 倉吉体育文化会館	
利用人数	1,122,000人	77,500人 67,000人	87,000人	140,000人	117,000人	172,000人	1,782,500人
(計画)	(1,122,000人)	(82,500人) (67,000人)	(87,000人)	(150,000人)	(110,000人)	(186,000人)	(1,804,500人)
利用人数	941,960人	78,998人 67,686人	91,328人	97,666人	106,265人	143,364人	1,527,267人
(実績)	(1,068,202人)	(84,957人) (69,916人)	(94,394人)	(134,463人)	(103,963人)	(200,090人)	(1,755,985人)
利用収入等金額	65,690,000円	32,484,000円	23,755,000円	30,900,000円	12,850,000円	20,137,000円	185,816,000円
(計画)	(66,742,000円)	(34,870,000円)	(23,385,000円)	(32,311,000円)	(12,474,000円)	(21,574,000円)	(191,356,000円)
利用収入等金額	70,468,485円	30,161,414円	19,240,579円	26,851,587円	13,902,426円	21,192,671円	181,817,162円
(実績)	(75,580,289円)	(31,891,479円)	(20,396,203円)	(30,028,645円)	(12,409,283円)	(26,044,731円)	(196,350,630円)
県委託料	285,360,000円	65,624,000円	—	32,780,000円	66,860,000円	52,357,139円	502,981,139円
(予算)	(273,806,000円)	(64,122,848円)	—	(30,775,264円)	(64,552,000円)	(47,170,160円)	(480,426,272円)
県委託料	286,543,458円	66,323,324円	—	35,516,474円	66,862,297円	52,357,139円	507,602,692円
(実績)	(263,026,254円)	(64,122,848円)	—	(31,954,618円)	(63,622,122円)	(47,170,160円)	(469,896,002円)
米子市委託料	—	—	45,772,000円	—	—	—	45,772,000円
(予算)	—	—	(45,083,000円)	—	—	—	(45,083,000円)
米子市委託料	—	—	45,772,000円	—	—	—	45,772,000円
(実績)	—	—	(45,083,000円)	—	—	—	(45,083,000円)
スポーツ(文化)教室	【スポーツ教室】 卓球初級教室 他35教室	【体育館】 バドミントン教室 他16教室 【プール】 幼児教室他26教室	【スポーツ教室】 バドミントン教室 他11教室 【水泳教室】 3教室(31クラス)	【スポーツ教室】 体操教室他15教室 【短期教室】 バドミントン教室他 3教室	柔道教室 剣道教室 弓道教室 相撲教室 ゆったり運動教室 他8教室	【スポーツ教室】 健康教室他16教室 【文化教室】 グラスシレット教室 他6教室	
イベント	【スポーツ】 クライミング体験教室他8種 【いきいき健康長寿】 園長杯争奪GG大会他7種 【体験学習】 カブトムシ観察ウォーク他2種 【交遊】 緑の感謝祭他4種	・着衣泳講習会 ・館長杯バドミントン大会 ・花ショウブ展示会 他7イベント	【スポーツ】 ・ニュースポーツ体験会 他3種 【地域貢献】 ・浮いて待て講習会 他1種 【自然体験】 ・水辺の安全教室	※メインアリーナ工事及びコロナウイルス感染症対策によりイベントなし	・武道合同体験会&フリーマーケット ・小学生柔道大会 ・高校生弓道大会 ・小学生剣道大会 ・武道館鏡開き式 他5イベント	・体文祭 ・テニスカップ ・夏休み文化教室 ・クリスマスイベント 他5イベント	

※カッコ内はH30年度

事業計画	実施状況																
<p>3 体育施設管理・運営 654,670千円(640,906千円) 鳥取県及び米子市から指定管理者に指名された体育施設の有効な活用と適正な管理運営を行い、県民の体力増強とスポーツ振興を図る。</p> <p>(1) 鳥取県立布勢総合運動公園</p> <table border="0" data-bbox="174 371 936 523"> <tr> <td>令和元年度施設利用見込み人数</td> <td>1,122,000人</td> </tr> <tr> <td>(平成30年度利用見込み人数)</td> <td>(1,122,000人)</td> </tr> <tr> <td>令和元年度収入見込額</td> <td>65,690千円</td> </tr> <tr> <td>(平成30年度収入見込み額)</td> <td>(66,742千円)</td> </tr> </table>	令和元年度施設利用見込み人数	1,122,000人	(平成30年度利用見込み人数)	(1,122,000人)	令和元年度収入見込額	65,690千円	(平成30年度収入見込み額)	(66,742千円)	<p>3 648,795,615円(637,197,873円)</p> <table border="0" data-bbox="1104 371 1809 523"> <tr> <td>令和元年度施設利用者数</td> <td>941,960人</td> </tr> <tr> <td>(平成30年度実績)</td> <td>(1,068,202人)</td> </tr> <tr> <td>令和元年度収入額</td> <td>70,468,485円</td> </tr> <tr> <td>(平成30年度実績)</td> <td>(75,580,289円)</td> </tr> </table> <p>【利用者数及び収入増減理由】※前年度比20%以上増減月</p> <p>■利用者数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10月(減) 前年度7,750人集客の「ワールドカデットチャレンジ大会」があったが、今年度は同規模の利用がなかったため減少となった。 ・3月(減) 新型コロナウイルス感染拡大防止の関係により、大会、イベント、教室等が中止となり、更に3月7日からトレーニングルームが利用停止となったため減少となった。 <p>■収入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月(減) 減免対象となる高等学校体育連盟主催の大会や県主催の「第30回みどりの愛護のつどい」等の利用が多かったことにより減少となった。 ・9月(増) VISION2020鳥取県希望前進決意大会や中国学生ソフトテニス秋季リーグ戦や秋季鳥取県高等学校野球大会など減免対象外の大規模な利用があったため増加となった。 ・11月(減) テニス教室の開催時期の関係で、昨年度と受講料の支払い時期が変わったため減少となった。 ・1月(増) 「第39回中国ミニバスケットボール交歓大会」の開催及びテニス教室の受 	令和元年度施設利用者数	941,960人	(平成30年度実績)	(1,068,202人)	令和元年度収入額	70,468,485円	(平成30年度実績)	(75,580,289円)
令和元年度施設利用見込み人数	1,122,000人																
(平成30年度利用見込み人数)	(1,122,000人)																
令和元年度収入見込額	65,690千円																
(平成30年度収入見込み額)	(66,742千円)																
令和元年度施設利用者数	941,960人																
(平成30年度実績)	(1,068,202人)																
令和元年度収入額	70,468,485円																
(平成30年度実績)	(75,580,289円)																

講料支払い時期の変更に伴い増加となった。

・ 3月 (減)

新型コロナウイルス感染拡大防止の関係により、大会、イベント、教室等が中止となり、更に3月7日からトレーニングルームが利用停止となったため減少となった。

【事業実施状況】

■施設管理

・ 外部委託による管理

※7 保守・管理・その他契約状況のとおり

・ 修繕業務

職員による毎日の巡視や、外部からの情報により発見した修繕箇所は、速やかに上司への報告を行うとともに、適切に修繕を行った。

月	件数	月総額	備考
4	8	612,169円	
5	17	2,849,828円	内消防設備 1,435,320円
6	12	1,369,116円	
7	10	1,700,568円	
8	11	946,708円	
9	9	990,694円	
10	8	984,946円	
11	6	2,187,900円	
12	7	534,400円	
1	12	2,199,959円	
2	9	1,446,500円	
3	7	2,369,532円	内体育館ディーゼル発電設備 1,309,000円
合計		18,192,320円	

・ 遊具の管理

日々の点検に特に力を入れケガや事故のないように努めている。しかし、7月には1号スライダー（滑り台）の側板溶接が剥がれ、指が挟まると大事故につながる恐れがあったが保守点検及び日常点検で発見できていなかった。幸い事故には至らず、気付かれた利用者からの連絡により対応することが出来たが、事前の発見・対応が必要であるため、点検体制を見直し、職員による毎日の目視点検の

徹底と、保守点検業者への詳細点検及び情報共有の徹底を行った。

・リサイクル堆肥

園内の維持管理で発生した芝刈屑や枝葉をアクセルグリーン工法で堆肥化し、園内の樹木や花壇に活用し、一般向けに無料配布を行った。

(無料配布)

第1回：5月3日～5日(布勢子ども祭り(春))

第2回：9月14日～16日(布勢子ども祭り(秋))

■利用促進、サービス向上

・自主事業の実施

各種スポーツ教室を開催し、元気で活力に満ちた社会の実現に寄与するとともに、公園の機能を最大限に生かしたイベントを実施し、スポーツ振興・公園知名度の向上を図った。

・スポーツ教室の実施状況(36教室)

教室名	期間	延べ回数	延べ人数	備考
卓球初級	4月～3月	30	983	
ピラティス	〃	30	412	
トータルバランスヨガ午前	〃	30	741	
ニュースポーツ	〃	30	201	
ノルディックウォーク	〃	20	112	
シェイプアップエアロ	〃	30	295	
ママのボディメイク with ベビー	〃	20	205	
癒しのヒーリングヨガ	〃	30	482	
卓球Ⅰ	〃	30	1278	
卓球Ⅱ	〃	30	636	
トータルバランスヨガ午後	〃	30	782	
バドミントン	〃	30	296	
エアロビクス&ストレッチ	〃	20	489	
健康トレーニング	〃	20	165	
フラダンス	〃	20	317	
ジョギング	〃	30	216	
ランニングクリニック	11月～3月	15	196	

エンジョイ・キッズ	4月～3月	29	486	
野球Ⅱ	＃	30	467	
幼児教室Ⅰ	＃	20	154	
幼児教室Ⅱ	＃	20	240	
陸上Ⅰ	＃	30	762	
野球Ⅰ	＃	30	504	
チアバトンダンス	＃	30	430	
バドミントンジュニアⅠ	＃	30	537	
バドミントンジュニアⅡ	＃	30	427	
トランポ・ロビックス	＃	30	524	
陸上Ⅱ	＃	30	812	
サッカー	＃	30	854	
陸上上級	＃	78	2640	
障がい者スポーツ	＃	6	29	
障がい者トランポリン	＃	7	46	
テニス 一般	＃	124	3535	
テニス ジュニア	＃	114	720	
バドミントンエキスパートクラス一般	＃	30	207	
バドミントンエキスパートクラスジュニア	＃	13	191	

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3月の開催を中止とした。

- ・エンジョイキッズ 1回
- ・陸上上級 7回
- ・障がい者スポーツ 2回
- ・障がい者トランポリン 1回
- ・テニスジュニア 10回
- ・バドミントンエキスパートクラス 1回

・イベント実施状況

区分	イベント名	延べ回数	延べ人数	備考
スポーツ	クライミング体験教室	2	28	
	布勢親子ダブルス卓球大会	1	52	
	布勢ナイター陸上記録会	1	62	
	布勢ナイターサッカー大会	1	324	

	コーディネーション&スプリント教室	2	36	
	ALL 但馬・因幡地区中学校対抗陸上競技大会	1	500	
	ピンポン大会	3	142	
	布勢サッカー大会	1	244	
	元プロ野球選手野球教室	1	131	
いきいき 健康長寿	サマーショートコースグラウンドゴルフ大会	1	300	
	園長杯争奪グラウンドゴルフ大会	5	1,839	
	布勢フレッシュ・グラスグラウンドゴルフ大会	1	340	
	布勢グラウンドゴルフ男女別個人戦	2	597	
	布勢GGショートコースラウンド	1	300	
	さよならGG大会	1	313	
	新春GG大会	1	292	
	初花GG大会	1	318	
体験学習	カブトムシ観察ウォーク	1	49	
	キノコ狩り	1	28	
	園芸	1	21	
交 流	布勢フリーマーケット	2	84	
	布勢子ども祭り（春）	1	4,500	3日間
	布勢子ども祭り（秋）	1	2,300	3日間
	緑の感謝祭	1	6,150	
	ミニ遊園地	4	1,408	

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、下記のイベントを中止とした。

- ・園長杯争奪GG大会（3/19）
- ・布勢サッカー大会（3/7）
- ・ミックスダブルス卓球大会（3/21）
- ・布勢剣道錬成大会（3/14）

・利用者等の要望の把握及び対応
 施設に対する苦情や意見については、主にメッセージカードにより受け付け、1週間以内には回答を掲示し、可能な限り利用者に対して詳細な説明を行うとともに、対応策を講じた。

トレーニングルーム機器の修繕や増設の希望が多く、全体的に古くなってしまった機器を今後どのように更新していくか、鳥取県緑豊かな自然課とも機器リ-

スへの移行も含めて協議をしている。

10月以降はトレーニングルームの利用を中心としたマナーに対する意見が多く、これまでの方法ではマナーの悪い利用者に届いていないという指摘もあったことから、新型コロナウイルス感染拡大防止のための利用停止が解除されるまでに、トレーニングルーム内の利用者が一目でわかる場所にマナーを呼びかける注意書きを大きく表示することにより、抑止力を高め、マナーの向上を図るべく準備を進めている。

月	件数	備考
4	1	ランニングマシン増設
5	2	トレーニング機器故障対応 他
6	1	雨除けのある駐輪場設置
7	3	壁打ちコートを使い方、開かないロッカーがある 他
8	5	ダンベルを旧タイプに戻してほしい、バレー支柱錆 他
9	4	シャワー室が不衛生、ごみの投棄 他
10	4	冷水器の周りがプロテインで汚れている 他
11	7	ダンベル等を床に強く投げ落とす 他
12	3	スタッフの対応が不愛想 他
1	3	トレーニング機器の長時間占有 他
2	7	マナーがよくない 他
3	3	タオルで機器の場所取りをしている 他

■事件・事故の防止措置と緊急時の対応

・事故・被害

事故や被害関係については大きなものはないが、特に夏場の熱中症等による救急搬送などは、大会等主催者との事前打ち合わせにおいて対応策を共有し、実際に起こった際にはスムーズに対応している。

また、4月にあった盗撮被害では、警察と連携し適切な対応を行った。

月	事故件数	被害件数	備考
4	1	1	体育館トレーニングルーム盗撮被害
5	1	0	
6	3	0	
7	5	0	熱中症、過呼吸 多
8	1	0	職員による公用車事故
9	0	0	
10	0	0	
11	1	0	大会中のアキレスけん断裂
12	0	0	
1	0	0	
2	0	0	
3	0	0	

・マムシ被害

直接報告のなかった事案だが、令和元年9月3日の日本海新聞に掲載されたマムシ被害について、女性が園内を散歩中マムシに足の指先を噛まれ、すぐに市内総合病院に駆け込み、「重症」と診断を受けた。

鳥取県緑豊かな自然課からの指示もあり、早急に園内20箇所に「マムシ注意」看板を設置した。

・避難場所としての体制・対応

令和元年8月に起こった台風10号の接近に伴い、県民体育館2階第3研修室及び第4研修室が、15日（木）午前9時00分より自主避難所として指定された。

16日（金）の午前7時ごろまで開設する予定であったため、本園職員の勤務体制を変更し、15日の午後5時から16日の午前7時まで2名で対応する形をとった。

鳥取市職員3名が常駐し、警報が出ている間待機していたが、午後8時ごろ警報が解除されたことにより、午後9時には自主避難所を解除した。

結果的に避難者は0人であった。

・国民保護実働訓練への参加

鳥取県が主催する国民保護実働訓練が令和元年9月4日（水）に布勢総合運動

公園陸上競技場及びその周辺において実施され、本園職員が施設管理者として参加した。

2020年東京オリ・パラに伴うキャンプ予定地として、テロに備えた訓練であり、化学剤災害及び爆発物処理を想定した内容であった。

本園職員は、初期対応（被災者発見から避難誘導）の役割を担った。

・新型コロナウイルス感染症拡大防止対応

3月に開催予定であった、小・中・高校生対象のスポーツ教室について、休校になったことを受け中止にした。また、本園主催のイベントについて全て中止した。

3月7日から、県の指示により陸上競技場及び県民体育館トレーニングルームを閉鎖した。

利用予約のキャンセルについては、県の指示によりキャンセル料を徴収しないこととした。

■その他

・障がい者スポーツの普及振興について、令和2年に完成予定の障がい者スポーツ拠点施設の建築が進む中、本園敷地内に設置されることから障がい者の来場が増加することが考えられるため、障がい者スポーツへの理解を深め、適切な対応ができるよう研修会を実施した。

・職場体験・インターンシップの受け入れ

令和元年6月17日～20日（4日間）2名受入（湖東中学校）

令和元年6月24日～27日（4日間）2名受入（高草中学校）

【今後の取り組み等】

・本園は広い敷地面積があり、隅々まで安全確認を行うのが非常に難しいところであるが、職員のみでなく、外部委託業者をはじめ各関係者と連携し、敷地内の安全確保に努めるべく情報共有ができる環境を整え、情報をもとに職員が迅速な対応を行っていく。

また、最低月に一回は、普段巡視等が行き届かない場所を重点的に見回り、枝折れ、倒木、側溝グレーチングの外れなど、危険個所の有無を確認し、発見した場合は速やかに立入禁止措置及び修繕を行う。

・国民保護実働訓練に参加し、特殊な訓練内容であるため継続した訓練や鳥取県をはじめとした各専門機関との情報共有が必要と考えている。

鳥取県に依頼し、化学剤散布の概要や実際に起こった場合の全体の動きなどを把握するため、公園模型を使ったシミュレーションを含め、全職員対象の研修会を計画する。

- ・自主避難所指定の際の役割分担が明確でないため、鳥取市にマニュアル作成を依頼している。マニュアル完成次第、役割分担を確認し、課題の整理と対策を進め、避難所開設の際には鳥取市と連携し適切な運営・活動ができるよう体制を整えていく。
- ・次期指定管理申請に向けた準備（研修会等）を行っていく。
- ・利用者の声に対し、迅速な回答・対応を行うとともに、対応できないもの等に関してはきめ細やかな説明を行う。職員は利用者の目線に立ち、常に改善の意識をもって取り組む。
- ・令和2年度の障がい者スポーツ拠点施設完成に向け、障がい者スポーツ協会との協力体制を検討し、開館からスムーズな運営・事業展開ができるようサポートする。

また、障がい者の来園が増えることを想定し、障がい者スポーツへの理解を深め、適切な対応ができるよう研修を重ねていく。（第2回研修年度末予定）

更に、より障がい者の方が利用しやすい公園とするため、鳥取県や関係団体と連携し、ハード面ではユニバーサルデザイン、多言語化、バリアフリースピーカー等の施設整備を進めるとともに、ソフト面ではノーマライゼーションを念頭において事業等を展開していく。

- ・県が進めている「スポーツ展示」について、令和2年10月からの運用を目指した準備に全面的に協力する。
- ・可能な範囲で照明器具をLEDに更新し、省エネ活動の推進、経費削減を行う。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止について、県の方針に従い対策を行うが、収入に係る影響が多大なため、利用再開後の収入確保及び支出削減方策の検討を進める。

(2) 鳥取県立鳥取産業体育館・鳥取県営鳥取屋内プール

令和元年度施設利用見込み人数	体育館	77,500人
	プール	67,000人
	計	144,500人
(平成30年度施設利用見込み人数)		(149,500人)
令和元年度収入見込額		32,484千円
(平成30年度収入見込み額)		(34,870千円)

令和元年度施設利用者数	体育館	78,998人
	プール	67,686人
	計	146,684人
(平成30年度実績)		(154,873人)
令和元年度収入額		30,161,414円
(平成30年度実績)		(31,891,479円)

■スポーツ教室

教室名	期間	延べ回数	延べ人数	備考
バドミントン(月曜日)	5月～3月	29	167	
卓球(月曜日)	5月～3月	28	462	
産体フィットネス(火曜日)	5月～3月	30	316	
ジュニア空手(火曜日)	5月～2月	27	217	
テニス(火曜日)	5月～3月	30	482	
ジュニアフィジカル(火曜日)	5月～2月	7	6	
テニス(水曜日)	5月～3月	27	443	
卓球(水曜日)	5月～3月	26	392	
ジュニア卓球(水曜日)	5月～2月	25	81	
ジュニア新体操(木曜日)	5月～2月	28	357	
いきいき健康(木曜日)	5月～3月	30	279	
産体フィットネス(木曜日)	5月～8月	10	43	
エアロビクス(金曜日)	5月～3月	27	348	
テニス(金曜日)	5月～3月	28	175	
バドミントン(金曜日)	5月～3月	28	203	
障がい者スポーツ教室	5月～2月	18	105	
ワンコインレッスン	4月～3月	1	5	

■水泳教室

教室名	期間	延べ回数	延べ人数	備考
幼児(月曜日)	5月～2月	31	464	
幼児(木曜日)	5月～2月	33	502	
幼児(土曜日)	5月～2月	54	765	※参照
小学生(月曜日)	5月～2月	52	729	※参照

小学生（火曜日）	5月～2月	32	624	
小学生（木曜日）	5月～2月	33	817	
小学生（金曜日）	5月～2月	33	775	
小学生（土曜日）	5月～2月	32	757	
小中学生（土曜日）	5月～2月	32	727	
一般（月曜日）	5月～3月	35	306	
一般（木曜日）	5月～3月	35	323	
一般（金曜午前）	5月～3月	35	144	
一般（金曜午後）	5月～3月	35	196	
アクアエクササイズ	10月～3月	20	37	
春季小学生	4月	10	83	
夏休み小学生Ⅰ	7月～8月	10	223	
夏休み小学生Ⅱ	8月	10	227	
水球教室	4月～2月	28	425	
障がい者水泳教室	5月～2月	20	86	
ワンコインレッスン	4月～3月	10	10	

※幼児（土曜日）2期以降（8月から）午前、午後2教室に変更。

※小学生（月曜日）2期以降（8月から）16時からと17時からの2教室に変更。

■イベント

区分	イベント名	延べ 日数	延べ 人数	備考
その他	着衣泳講習会	1	14	6月16日
文化	花ショウブ特別展示会	2	385	6月24・25日
スポーツ	フィジカル&スキル トレーニング	2	81	6月30日 1月5日
スポーツ	わんぱくレスリング教室	1	12	7月27日 3月21日中止
文化	室内フリーマーケット	1	280	11月10日
スポーツ	館長杯秋季バドミントン 大会	1	27	12月3日
スポーツ	第10回ローソンカップ 小学生さわやか卓球大会	1	142	12月27日

スポーツ	新春初泳ぎイベント	1	60	1月4日
スポーツ	第9回室内グラウンド・ゴルフ交流大会	1	57	2月26日
スポーツ	泳力検定会			3月8日中止

■利用人数及び収入増減理由

<体育館>

利用者数：5月は、中国学生卓球選手権大会、鳥取県高等学校総合体育大会バドミントン競技、東芝営利利用の開催による利用者数増。

9月は、新日本プロレス、尾家産業の営利利用による利用者数増。

収入：9月は、新日本プロレス、尾家産業の営利利用による収入増。

11月は、前年度は大規模の営利利用が2件(486,180円)あったものが、中国電力の営利利用のキャンセル及び東芝の営利利用は5月に開催していることから、収入減となった。

<プール>

利用者数：4月にプール清掃及び改修工事で10日間休業したことによる利用者数減。

収入：8月は、昨年度実施しなかった夏季水泳教室を開催したことによる収入増。

《体育館・プール共通》

3月については、コロナウイルス感染症拡大予防により、自主事業及び大会や催事がキャンセルとなり、利用者数及び収入共に大幅な減となった。

■事業実施状況

- ・海水浴シーズン前に「着衣泳講習会」を日本赤十字社鳥取支部と連携し開催した。水害等万が一に備え、とても有意義な講習会開催であった。
- ・文化的事業として「花ショウブ特別展示会」を昨年度に引き続き、鳥取県花菖蒲協会と連携し開催した。継続開催もあって、多くの愛好者や興味をもった方で賑わった。
- ・職員の特性を生かし、「わんぱくレスリング教室」を開催した。グレコローマン82kg級日本代表の前田祐也選手の指導もあり、好評であった。
- ・「フィジカル&スキルトレーニング」を昨年に引き続き開催した。神経系の運動能力を高め、運動神経を鍛えるコーディネーショントレーニングを中心にプログラムを組んだ。
- ・幼児から高齢者、障がい者まで、幅広い層で楽しんでいただける、水泳、スポ

ーツ教室を開催。生涯スポーツの普及、振興や競技力向上に取り組んでいる。
また、教室参加者を増やす対策として、第二期（8月から）以降、水泳教室幼児(土曜日)を午前、午後の2教室に変更、小学生(月曜日)を16時からと17時からの2教室に変更し実施した。

- ・職員の特性を生かし新たに、「アクアエクササイズ」、「ジュニアフィジカル」教室を実施。
- ・2月29日からコロナウイルス感染症拡大防止のため、自主事業を自粛した。（「わんぱくレスリング教室」、「泳力検定会」、障がい者及び中学生以下を対象とした教室）

■地域貢献等

- ・小学校の全校遠足の途中休憩所としてロビー・トイレを提供した。
- ・鳥取南中学校の2年生4名、鳥取西中学校の2年生2名を職場体験の受け入れを行った。
- ・鳥取市内の各小学校（散岐小学校、神戸小学校、美保南小学校）へ出向き、教師及び生徒に水泳出前指導を行い泳力向上に貢献した。
- ・あおば地区公民館のスポーツ行事に職員を派遣し、ニュースポーツ(室内ペタンク)の出前指導を行い、地域の方に大変喜んでいただいた。
- ・鳥取市内の各小学校の親子会（河原第一小学校、城北小学校、修立小学校、遷喬小学校、大正小学校）に職員を派遣し、ニュースポーツの出前指導を行ない、スポーツを通じて親子交流を推進した。
- ・鳥取工業高等学校の実習の場として、駐車場を提供。駐車区画のライン引き直しを実施。
- ・鳥取大学特別支援学校高等部に職員を派遣し、空手道の出前指導を行ない、空手道を通じて心身の鍛錬、空手道独特の空気感を体験してもらった。
- ・施設裏の市道の雑草の背が高く視界が悪い為、草刈りを実施。
- ・ペットボトルのキャップ70kgを株式会社エコマに無料提供し、リサイクル化を図った。

■今後の取り組み等

- ・継続的にイベント、大会等を開催していただくため、準備段階から積極的に運営に協力していくとともに、継続開催の声掛けをしていく。
- ・支出（特に燃料費と電気代）を抑えるよう職員全員が節減意識をこれまでよりさらに強く努力する。
- ・施設の老朽化が進んでいる。大規模修繕は県と連携し修繕を検討し、小規模修繕については、職員で直せるものは職員で対応するよう努める。また、日頃の

- 巡視・点検を徹底し、大きな修繕にならないように努める。
- 利用者が安心・安全・快適に施設を利用していただくことが基本と考え、施設アンケート・教室アンケートを行う機会を増やし、利用者の声を聴き、迅速な対応ができる管理運営に努める。
- 競技団体との連絡を密にし、広く県民の皆様にトップアスリートのプレーを体感できる公式戦や教室を開催してもらえよう努める。
- 教室、イベントの参加者を増加させるため、当館ホームページやメディアへの広報はもとより、学校や公共施設等へのチラシ配布を行う。
- 職員の資質向上のため、各種研修会への参加や各種資格の取得を促進する。
- 株式会社ローソンと協力し、ローソニック卓球大会の継続・充実を図る。
- 収入増を図るため、追加イベント、教室を計画し実施する。
- 可能な範囲で照明器具をLEDに更新し、省エネ活動の推進、経費削減を行う。

(3) 米子市皆生市民プール

令和元年度施設利用見込み人数 87,000人
 (平成30年度施設利用見込み人数) (86,000人)
 令和元年度収入見込額 23,755千円
 (平成30年度収入見込額) (23,385千円)

令和元年度施設利用者数 91,328人
 (平成30年度実績) (94,394人)
 令和元年度収入額 19,240,579円
 (平成30年度実績) (20,396,203円)

■スポーツ教室

教室名(種類)	期間	延べ回数	延べ人数	備考
バドミントン教室(初級)(1)	4期	40	97	
バドミントン教室(中級)(1)	4期	40	364	
バドミントン教室(上級)(1)	4期	40	247	
Jr.バドミントン教室(3)	4期	113	1,171	
Jr.バドミントン教室(1)	短期	5	44	
3B体操教室(1)	4期	37	144	
わんぱく教室(1)	4期	28	468	
トライアスロン教室(3)	4期	113	1,767	

■水泳教室

教室名(種類)	期間	延べ回数	延べ人数	備考
水泳教室(幼児)(7)	3期	220	3,691	

水泳教室（小中学生）（21）	3期	557	8,141	
水泳教室（成人）（4）	3期	89	704	

■ イベント

イベント名	期間	回数	人数（延）	備考
浮いて待て講習会	7月31日	1回	7	
水辺の安全教室	8月7日	1回	17	
高齢者体力測定	9月20日	1回	5	
ニュースポーツ体験会	11月30日	1回	21	
第3回とっとりけん玉道選手権	11月16日	1回	16	
館長杯ジュニアバドミントン大会	9月28日	1回	16	
プチ・レッスン	5・6・10・11月	20回	514	

■ 利用人数及び収入増減理由

・ 利用人員

一般入場者数は前年度対比（-1,268人）、スポーツ教室前年度対比（-1,801人）両方では前年度対比（-3,069人）となった。新型コロナウイルスの感染拡大防止でスポーツ教室が3月から中止になった影響が挙げられる。

・ 収入

前年度対比（-1,155千円）であった。2月から3月にかけての新型コロナウイルス感染拡大防止に伴うスポーツ教室の中止で2~3回の教室を中止とし、返金（511千円）を行ったことが挙げられる。

■ 事業実施状況

- ・ 水泳教室は、第3期（1月から3月期）以外は例年通り実施することができた。申込者数の増加に伴い、追加の教室を開催し、ほぼ全員の申込者が参加できるクラス編成を行い、好評を頂いた。特に幼児（2歳から3歳児対象、年少から年長）クラスは、申込者多数であった。
- ・ スポーツ教室に関しては、わんぱく体操教室、ジュニア・バドミントン教室の申し込みが多く教室を追加、わんぱく体操教室は定員より多く参加する体制を取った。
- ・ 共同企業体である（一財）鳥取県水泳連盟と合同の救命救急講習並びに救助訓練を行い、監視体制、救助体制の確認を行った。（5月29日）また、不審者対応講習会（9月25日）ハラスメント研修（12月11日）を実施した。
- ・ 米子市内の小中学校及びPTAに地域貢献活動の一環としてのBLS（心肺蘇生

法及びAED)講習会及び浮いて待て(着衣泳)講習会を6校約500名に実施した。

- ・鳥取県障がい者スポーツ協会との共催で、西部スポーツ教室を実施(継続中)するとともに、第7回鳥取県障がい者水泳選手権大会の会場提供及び職員の役員配置、第13回全日本チャレンジド・アクアスロン皆生大会にできる限り職員を派遣し、サポート体制の強化により、障がい者の方へのスポーツ活動の支援に貢献できた。
- ・福米中学校3名(9月26日から27日)の職場体験の受け入れを行った。実際にプール監視、教室補助、窓口業務、環境美化活動等体験し、普段利用しているだけではわからない施設管理の一面を理解したと思う。
- ・「浮いて待て講習会」を7月31日(水)に実施し、7名に体験していただいた。
- ・小学生を対象に水辺で安全に楽しく過ごすにはどうしたら良いか学習させる自主イベント「水辺の安全教室」を開催した。実際に皆生温泉海水浴場に出掛け、入水方法や水中生物の観察など楽しい時間を共有した。(8月7日(水))
- ・5月から6月及び10月から11月の計20回、毎週月・木曜日の10時10分から約20分間、主に高齢者を対象にした無料水中運動を実施。514名もの参加があり、大変好評をいただいた。
- ・水泳の飛び込み指導に関して、鳥取県小中学校の教員対象にした飛び込み教室に職員を指導員として派遣し(県内3か所)、多くの教職員に指導を行った。
- ・鳥取県立盲学校ひまわり分校のプール利用が夏季期間にあり、フロートやヌードルを貸し出し、安全に楽しく利用して頂いた。
- ・新規に館長杯ジュニアバドミントン大会を開催し、多くの小学生が熱戦を展開した。(9月28日)
- ・4月1日より、敷地内全面禁煙を実施した。
- ・8月より、米子市職員互助会と契約を結び、利用者の拡大を図った。
- ・9月より、米子市立あかしやより、送迎時のバスの昇降に駐車場を利用したいとの申し出があり、利用して頂いている。
- ・11月16日に「第3回とっとりけん玉道選手権」を開催し、県内外から16名の有資格者が集い、レベルの高い対戦を繰り広げた。
- ・11月30日に「ニュースポーツ体験会」を実施。普段触れることのないニュースポーツに参加者は大いに盛り上がったイベントとなった。

■今後の取り組み等

- ・米子市のスポーツ振興、健康増進に照らした事業展開と安心安全な施設の提

供ができるよう、利用者の声、社会変化のニーズや課題を積極的に探り、柔軟な発想で施設運営に反映していく。

- ・ 各種スポーツ教室等の自主事業の評価（アンケート）・検証を行い、参加者の要望に可能な限り応えることができる運営を心掛け、安定した収入による施設運営を行えるようにしていく。
- ・ 職員の資質向上のため、各種研修会への参加や各種資格の取得を推進する。
- ・ 施設の巡回、点検を徹底し、大きな修繕にならないように努力していく。
- ・ 利用者の声を第一に考え、常に利用者の目線に立った施設運営を全職員一丸となって取り組んでいく。

(4) 鳥取県立米子産業体育館

令和元年度施設利用見込み人数 140,000人
 (平成30年度施設利用見込み人数 (150,000人))
 令和元年度収入見込額 30,900千円
 (平成30年度収入見込額 (32,311千円))

令和元年度施設利用者数 97,666人
 (平成30年度実績) (134,463人)
 令和元年度収入額 26,851,587円
 (平成30年度実績) (30,028,645円)

■スポーツ教室

・年間

区分	教室名	期間	延べ回数	延べ人数	備考
スポーツ	体操体育(月)低学年	4月～3月	36	151	
	体操体育(月)高学年		36	240	
	体操体育(木)年長		37	0	
	体操体育(木)低学年		37	390	
	体操体育(木)高学年		37	204	
	器械体操(火・金)小学生		73	618	
	新体操(水)年長～低学年		37	455	
	新体操(水)高学年		37	463	
	サッカー(月)低学年		35	301	
	サッカー(月)高学年		35	456	
	サッカー(水)低学年		37	541	
	サッカー(水)高学年		37	427	

女子サッカー (木)	37	241	
レスリング (金) 低学年	37	279	
エンジョイフットサル (月) 一般	40	171	
メタボ撲滅 (火) 一般	40	185	
年間教室 4月～9月合計	628	5,122	

・短期

区分	教室名	期間	延べ回数	延べ人数	備考
スポーツ	バドミントン(1期10回)	6期	55	476	週2回 実施
	バウンドテニス(1期10回)	6期	55	365	
	エンジョイ卓球(1期10回)	5期	50	466	
	障がいのある方の教室 (1期6回)	1期	6	7	
短期教室 4月～3月合計			166	1,314	

■利用者数及び収入増減理由

<主な利用者数及び収入減少理由>

下記工事および整備により利用できない施設および設備が長期間あったため利用者数、収入とも前年比で減少となった。

- ・メインアリーナ特定耐震対策工事による全面利用停止

利用停止場所：メインアリーナ

利用停止期間：令和1年10月1日から令和2年3月22日

- ・自家発電設備分解整備及び充電装置改修による全館利用停止

利用停止場所：全館

利用停止期間：令和2年1月22日から令和2年1月30日

- ・体育館空調に係る冷温水機の分解整備

対象施設：サブアリーナ

停止内容：空調(暖房)の利用停止。

利用停止期間：令和2年1月14日から令和2年2月21日

<その他 利用者数増減理由>

主な減少理由に加え、新型コロナウイルスの影響により3月よりスポーツ教室の中止及びフィットネスルームの利用中止を行ったため、利用者実績は前年度比△27.3%となった。

<その他 収入増減理由>

長期利用停止施設があったものの本館同様、同地域に位置する米子コンベンションセンター多目的ホールも、令和元年6月1日から令和2年3月5日まで特定天井耐震対策工事により利用中止となり、例年同館で開催されていた大規模イベント（3イベント）が当館で実施されたことや、例年メインアリーナで実施していたスポーツ教室を、メインアリーナ工事期間中サブアリーナ等を活用するなど工夫し、2月までの開催については予定どおり行ったことで収入は前年比△9.8%に留まった。

■事業実施状況

- ・指定管理期間に合わせ、自動販売機の設置業者を更新。
設置台数は従来通り7台であるが、うち1台について飲料の販売機をアイスクリームの販売機に変更し利用者の利便性の向上を図った。
- ・施設内の防犯性を高めるため、空き缶回収ボックスを防犯上有効とされる透明なものへ変更した。
- ・ニュースポーツ用具の貸し出しにあたり、内容物の内訳、ルールの説明を記載したカードを同封し、利用者に利用しやすい、わかりやすい配慮を行った。
- ・ホームページの内容を適宜更新し、利用者に解りやすい情報提供をした。また、フェイスブック、インスタグラムを活用し、忘れ物のお知らせ、喫緊の情報提供などを行った。
- ・タブレット端末を設置し、外国人利用者に対する翻訳機能の活用、スポーツ教室参加者のQRコード登録による休講等の緊急連絡等に備えた。
- ・パンフレットを刷新。ホームページ、フェイスブックのQRコードを刷り込むなど、情報発信の多角化を図った。
- ・デジタルサイネージ機器を設置しより効果的な情報発信に努めた。
- ・熱中症対策として、WBGT数値の測定、熱中症警報等が発令された場合の館内表示、さらに利用者への水分補給、休憩を促すなどの声掛けを行った。
また、ホールのWBGTにも注意を払い、冷房基準を設け、適宜冷房運転を行った。
このことにより「ひと涼みアワード2019スポーツ部門優良賞」を受賞。
- ・屋外環境整備マニュアルの作成とともに、環境整備実施マップを毎月作成、実施することで環境整備に引き続き努めた。
- ・安全対策のため、フィットネスルームに監視カメラを設置した。
- ・キャッシュレス決済導入により国および鳥取県が推進するキャッシュレス化に協力し利用者の利便性の向上に努めた。

- ・ 2階会議室にWi-Fiを導入。利用者への利便性の向上を図った。
- ・ 2階小会議室の会議用テーブルを更新し利用者に快適な環境の提供をおこなった。
- ・ 新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐための対応として以下の内容を実施した。
 新型コロナウイルス対応に関する内部研修の実施。
 スポーツ教室の児童生徒の教室について3月分を中止。
 フィットネスルームの利用について、3月7日より中止。
 定時巡回時にドアノブ、手すり等を除菌。
 1階体育館出入口、2階観覧席入口を空気循環効率向上のため、常時開放（密閉の防止）
 大体育館、小体育館、会議室、研修室入口の換気のため開放するよう貼紙を掲示、窓口にて説明し、協力を依頼。
- ・ 年間、短期スポーツ教室
 年間子ども教室については会場を調整しながら2月までは予定どおり開催。
 年間大人教室は3月まで予定どおり開催。
 短期教室はメインアリーナ工事を考慮、開催期を前倒し実施した。
 参加者からの教室開催要望があり、バドミントン、バウンドテニスについて規模を縮小した教室をサブアリーナで実施。
 障がいのある方の短期教室（ひまわり教室）は、10月から12月にかけて、6回実施。
- ・ 米子市立福米中学校の職場体験わくわく福米（9月25日から27日まで）を受け入れ。
- ・ 夏季の閑散期に県外大学等の合宿誘致をおこない利用者増に努めた。（大阪教育大学剣道部、大阪大学バドミントン）
- ・ メインアリーナ工事のため例年実施している館長杯バウンドテニス大会、バドミントン大会は実施しない予定としていたが、新体操教室発表会についても新型コロナウイルスの影響で中止とした。

■今後の取り組み等

- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響により、7月までの大会、催事等についてキャンセルが相次いでいるが、今後この状況が改善傾向になることを踏まえ、展示会・イベントを中止した団体について、これを機に催事取りやめとならないよう、次年度の予約等継続利用を働きかける。
 また、新たな催事開催についても、引き続き誘致を行う。
- ・ 職員の資質向上のために、研修会や講習会へ参加する。また、施設の管理運営

- 上、必要な資格は取得に努める。
- ・各種競技の大会、学生の合宿を積極的に受け入れ、スポーツ振興の場となるよう努める。
- ・障がい者のスポーツ大会開催に積極的に支援を行う。
- ・競技団体との連絡を密にし、広く県民の皆様がトップアスリートのプレーを体感できる公式戦や教室を開催してもらえるよう引き続き努める。
- ・指定管理者としての業務内容を理解し管理運営を行うとともに、提案書に掲げた項目について、早期の実現を目指し、利用者により良いサービスを提供するため努力する。

(5) 鳥取県立武道館

令和元年度施設利用見込み人数 117,000人
 (平成30年度施設利用見込み人数) (110,000人)
 令和元年度収入見込額 12,850千円
 (平成30年度収入見込額) 12,474千円

令和元年度施設利用者数 106,265人
 (平成30年度実績) (103,963人)
 令和元年度収入額 13,902,426円
 (平成30年度実績) (12,409,283円)

■スポーツ教室

教室名	期間	延べ回数	延べ人数	備考
柔道教室	4月～3月	80回	1,514人	
剣道教室	4月～3月	74回	1,515人	
弓道教室	4月～3月	80回	748人	
空手道教室	4月～3月	74回	835人	
なぎなた教室	4月～3月	80回	441人	
銃剣道教室	4月～3月	74回	443人	
相撲教室	4月～3月	56回	248人	
ゆったり運動教室	4月～3月	40回	194人	
のびのび運動教室	4月～3月	38回	675人	
カンフー教室	4月～3月	37回	638人	
ストレッチ・トレーニング教室	4月～3月	80回	422人	
小学生スポーツ合宿(体操・体育)	8月	3回	48人	
弓道クリニック	8月	1回	8人	

■ イベント

区分	イベント名	延べ回数	延べ人数	備考
スポーツ	鳥取県空手道指導者養成講習会	1回	25人	4月実施
スポーツ	鳥取県弓道指導者養成講習会	1回	25人	7月実施
体験	2019 武道合同体験会&フリーマーケット	1回	1,195人	10月実施
スポーツ	空手道教室級位審査会	3回	86人	6月9月12月実施
スポーツ	ローソンカップ小学生柔道大会	1回	400人	9月実施
スポーツ	ローソンカップ高校生弓道大会	1回	250人	12月実施
スポーツ	ローソンカップ小学生剣道大会	1回	700人	1月実施
スポーツ	鳥取県立武道館鏡開き式	1回	500人	1月実施

■ 利用人数及び収入増減理由

人数

- ・ 11月は、今年度から行われた開尚カップ大会（柔道）が開催されたことと、福米中学校文化祭が行われたため、人数が増加した。
- ・ 3月は、新型コロナウイルスの影響により施設利用者のキャンセル等が多く出たため人数が減少した。

収入

- ・ 4月、6月、12月は、主に教室参加料の値上げにより収入が増加した。
- ・ 6月は、中国高等学校剣道選手権大会、7月は、中国ジュニア柔道大会、8月は、全国工業高等専門学校柔道大会が開催されたため、収入が増加した。
- ・ 5月は、前年度開催された銃剣道中四国ブロック研修会、中四国医科学生剣道大会が今年は開催されなかったため、収入が減少した。
- ・ 3月は、新型コロナウイルスの影響により小・中・高等学校が休校となり、それに伴い、武道・スポーツ教室を中止し、3月分の教室参加料を参加者に返金した。また、予約のキャンセルが続き収入が減少となった。

■ 事業実施状況

- ・ 上記のスポーツ教室、イベントを実施した。
- ・ 利用者のニーズに応じる為、新たに相撲教室を5月より2課程開講した。
- ・ 新規事業として、小学生スポーツ合宿（体操・体育）を実施した。合宿を行うことにより普段なかなか習得できない技術や苦手な種目にじっくり取り組み、技術の向上、自立心の育成をめざした。また、弓道クリニック（矢の補修等講

義)を開催した。通常行う教室では習得できない技術や弓道に必要とされる知識の習得を図った。

- ・弓ヶ浜中学校(7月2日から7月4日まで3日間)、福米中学校(9月25日から9月27日まで3日間)、2校から職場体験の受け入れを行った。
- ・4月より6月定期券を導入し利用促進に努めた。
- ・自動販売機は、これまで飲料水のみ扱っていたが、新たにアイスクリーム自販機を導入した。
- ・利用申込書はこれまで事務室の窓口で手書きで作成してもらっていたが、4月から電子メールやファクシミリでの受付を可能とし、書類作成の電子化を図った。
- ・各競技団体等の依頼により、外部指導者、審判員等で職員を派遣した。
- ・会議室・研修室の予約を以前は利用月の1か月前からとしていたが、3か月前から予約できるよう変更し、利用者の利便性を図った。
- ・キャッシュレス決済を導入して利用者の利便性を図った。
- ・利用者の利便性を図るため、デジタルサイネージを導入した。

■今後の取り組み等

- ・各教室の参加者を増加させるため、当館ホームページやメディアへの広報はもとより、学校や公共施設等へのチラシ配布を行う。
- ・あいサポート企業・団体に承認された為、障がいのある方をはじめ、多くの方に安心して利用していただける施設の充実に取り組む。
- ・武道合同体験会&フリーマーケットを開催し、利用者の拡大及び武道の普及を図る。イベントのフリーマーケットを目的に来館される方にも武道に関心を持っていただくよう利用者獲得のための工夫をしたい。
- ・植栽等の整備に力を入れていきたい。特に冬場は落葉の処理、剪定を中心に環境美化に努めていく。
- ・ワールドマスターズ2021の開催に向け県や各競技団体と連携して取り組んでいく。
- ・鳥取県立武道館開館20周年記念西日本弓道大会を実施する。(予定)

事業計画	実施状況																																																																																																																								
<収益1>施設関連事業 79,155千円(75,816千円)	<収益1> 85,051,653円(81,595,757円)																																																																																																																								
1 体育施設の有効な活用と適正な管理運営を行い、県民の体力増強とスポーツ振興を図る。																																																																																																																									
(1) 鳥取県立倉吉体育文化会館 70,317千円(68,745千円)	(1) 72,056,988円(74,689,144千円)																																																																																																																								
令和元年度施設利用見込み人数 172,000人 (平成30年度施設利用見込み人数) 186,000人	令和元年度施設利用者数 143,364人 (平成30年度実績) (200,090人)																																																																																																																								
令和元年度収入見込額 20,137千円 (平成30年度収入見込み額) 21,574千円	令和元年度収入額 21,192,671円 (平成30年度実績) (26,044,731円)																																																																																																																								
	■スポーツ・文化教室 <table border="1" data-bbox="1120 606 2083 1444"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>教室名</th> <th>期間</th> <th>延べ回数</th> <th>延べ人数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>スポーツ</td><td>健康づくり</td><td>4月～3月</td><td>30</td><td>300</td><td></td></tr> <tr><td>スポーツ</td><td>運動不足解消</td><td>4月～3月</td><td>30</td><td>499</td><td></td></tr> <tr><td>スポーツ</td><td>テニス夜</td><td>4月～9月</td><td>30</td><td>346</td><td></td></tr> <tr><td>スポーツ</td><td>テニス昼</td><td>4月～9月</td><td>30</td><td>359</td><td></td></tr> <tr><td>スポーツ</td><td>ストレッチ・ジャズ体操</td><td>4月～9月</td><td>30</td><td>495</td><td></td></tr> <tr><td>スポーツ</td><td>テニス卓球&ソフトバレー</td><td>4月～3月</td><td>30</td><td>1,236</td><td></td></tr> <tr><td>スポーツ</td><td>トランポリン</td><td>7月、8月</td><td>2</td><td>20</td><td></td></tr> <tr><td>スポーツ</td><td>中部スポーツ</td><td>4月～3月</td><td>9</td><td>97</td><td></td></tr> <tr><td>スポーツ</td><td>障がい者スポーツ</td><td>4月～3月</td><td>7</td><td>14</td><td></td></tr> <tr><td>スポーツ</td><td>太極拳</td><td>4月～3月</td><td>30</td><td>158</td><td></td></tr> <tr><td>スポーツ</td><td>バドミントン昼</td><td>4月～3月</td><td>30</td><td>131</td><td></td></tr> <tr><td>スポーツ</td><td>バドミントン夜</td><td>4月～3月</td><td>30</td><td>243</td><td></td></tr> <tr><td>スポーツ</td><td>ボルダリング(小・中)</td><td>6月～3月</td><td>27</td><td>40</td><td></td></tr> <tr><td>スポーツ</td><td>ボルダリング(一般)</td><td>6月～2月</td><td>19</td><td>39</td><td></td></tr> <tr><td>スポーツ</td><td>ボルダリング(小・中)</td><td>6月～3月</td><td>28</td><td>79</td><td></td></tr> <tr><td>スポーツ</td><td>初級ラージ卓球</td><td>5月～11月</td><td>10</td><td>43</td><td></td></tr> <tr><td>スポーツ</td><td>ヨガ</td><td>6月、7月</td><td>5</td><td>39</td><td></td></tr> <tr><td>文化</td><td>グラス・シルエットアート</td><td>4月～3月</td><td>18</td><td>94</td><td></td></tr> <tr><td>文化</td><td>パソコン</td><td>4月～3月</td><td>43</td><td>604</td><td></td></tr> </tbody> </table>	区分	教室名	期間	延べ回数	延べ人数	備考	スポーツ	健康づくり	4月～3月	30	300		スポーツ	運動不足解消	4月～3月	30	499		スポーツ	テニス夜	4月～9月	30	346		スポーツ	テニス昼	4月～9月	30	359		スポーツ	ストレッチ・ジャズ体操	4月～9月	30	495		スポーツ	テニス卓球&ソフトバレー	4月～3月	30	1,236		スポーツ	トランポリン	7月、8月	2	20		スポーツ	中部スポーツ	4月～3月	9	97		スポーツ	障がい者スポーツ	4月～3月	7	14		スポーツ	太極拳	4月～3月	30	158		スポーツ	バドミントン昼	4月～3月	30	131		スポーツ	バドミントン夜	4月～3月	30	243		スポーツ	ボルダリング(小・中)	6月～3月	27	40		スポーツ	ボルダリング(一般)	6月～2月	19	39		スポーツ	ボルダリング(小・中)	6月～3月	28	79		スポーツ	初級ラージ卓球	5月～11月	10	43		スポーツ	ヨガ	6月、7月	5	39		文化	グラス・シルエットアート	4月～3月	18	94		文化	パソコン	4月～3月	43	604	
区分	教室名	期間	延べ回数	延べ人数	備考																																																																																																																				
スポーツ	健康づくり	4月～3月	30	300																																																																																																																					
スポーツ	運動不足解消	4月～3月	30	499																																																																																																																					
スポーツ	テニス夜	4月～9月	30	346																																																																																																																					
スポーツ	テニス昼	4月～9月	30	359																																																																																																																					
スポーツ	ストレッチ・ジャズ体操	4月～9月	30	495																																																																																																																					
スポーツ	テニス卓球&ソフトバレー	4月～3月	30	1,236																																																																																																																					
スポーツ	トランポリン	7月、8月	2	20																																																																																																																					
スポーツ	中部スポーツ	4月～3月	9	97																																																																																																																					
スポーツ	障がい者スポーツ	4月～3月	7	14																																																																																																																					
スポーツ	太極拳	4月～3月	30	158																																																																																																																					
スポーツ	バドミントン昼	4月～3月	30	131																																																																																																																					
スポーツ	バドミントン夜	4月～3月	30	243																																																																																																																					
スポーツ	ボルダリング(小・中)	6月～3月	27	40																																																																																																																					
スポーツ	ボルダリング(一般)	6月～2月	19	39																																																																																																																					
スポーツ	ボルダリング(小・中)	6月～3月	28	79																																																																																																																					
スポーツ	初級ラージ卓球	5月～11月	10	43																																																																																																																					
スポーツ	ヨガ	6月、7月	5	39																																																																																																																					
文化	グラス・シルエットアート	4月～3月	18	94																																																																																																																					
文化	パソコン	4月～3月	43	604																																																																																																																					

文化	能楽謡曲教室	4月～11月	20	33	
文化	フラワーアレンジメント(昼)	6月～3月	11	52	
文化	フラワーアレンジメント(夜)	4月～3月	12	154	
文化	英会話	5月～3月	30	215	
文化	絵手紙	4月～3月	12	89	

■イベント

区分	イベント名	延べ回数	延べ人数	備考
スポーツ	クライミング体験会	2	49	6月25日、 7月12日
スポーツ	エンジョイカップテニス	2	15	7月10日、 12月23日
スポーツ	ターゲットバードゴルフ	6	27	4月～6月
スポーツ	県民の日みんなでスポーツを！	5	213	9月7,8, 12,14,15日
文化	夏休み文化教室	1	35	8月18日
文化	体文祭	1	450	10月26,27日
文化	クリスマスイベント	1	77	12月22日
その他	軒下セール	2	170	6月8日 12月22日
その他	避暑スタディー	4	13	8月13～ 16日

■利用人数及び収入増減理由

<利用者数>

5月は前年度開催されたイベントが開催されなかったため減少。

6月はスポーツクライミング全日本・フランス代表合宿のための準備として体育館を利用したため減少。

10月、11月、1月、2月は体育館冷暖房システム改修工事利用制限のため減少。

3月はコロナウイルス感染症予防対応の利用制限のため減少。

<収入>

5月、6月、10月、11月、3月は、利用者数の減少と同様の理由で減少。

■事業実施状況

- ・利用者の皆さんに日頃の感謝をこめて「第12回スポーツと文化のまつり 体文祭」を定着させ文化団体と協力、当館の文化教室の作品やニュースで見る当館の一年の歩みを広く見ていただいた。近隣の幼稚園等に依頼し、オリンピックにちなんだ絵を展示した。また、スポーツクライミングの普及振興を図るため、ボルダリング体験会を実施した。期間中、障がい者就労施設（東伯けんこう）による販売の受け入れを行った。
- ・受付でのスピーディーなお客様を待たせない、2人体制や総合案内を設け、利用者へのホスピタリティーある接遇を行っている。
- ・2019 スポーツクライミング世界選手権大会日本代表・フランス代表事前合宿を受入れ、合宿支援を行った。
- ・ロビーに倉吉絣等を展示し、地域の文化振興を図った。
- ・デジタルサイネージを活用し、有事の際のJアラート情報を周知し、安全安心の取り組みを行った。
- ・PM2.5の表示をサイネージの横に表示することにより、適切な情報周知の相乗効果を高めた。
- ・町中のオアシスとして環境問題にも配慮した「プランター設置」「メダカ保存」「メダカの里親探し」「軒下セール」「ウォーキングコース」を実施した。
- ・「あなたの町や村に行きます」にて「介護予防教室」、「認知症予防教室」「八屋ひまわりサロン」県内、市町村社協へ出張指導に出向き地域貢献に協力し、利用促進に効果を発揮した。
- ・体育館で開催された、中部地区高齢者運動会や市町村共済組合職員スポーツ大会で準備体操指導を行った。
- ・施設を安全に使っていただくために応急手当普及員4人を配置し、万一に備える体制を整えた。
- ・木製床管理者1人を配置し、アリーナ床の安全安心な管理体制を整えた。
- ・有料掲示板の継続により利用者の利便性と地域の活性化を目指している。
- ・「エンジョイテニス大会」「託児保育」又、鳥取県障がい者スポーツ協会と共催で「中部スポーツ教室」を実施した。あらたに「障がい者スポーツ教室」を実施し、中部地区の核となるよう開催した。
- ・クライミング専門職員を配置し、クライミングセンターの安全な運営を継続して実施した。
- ・小学4年生から大人までを対象としたボルダリング教室を開催。次世代の育成、底辺の拡大等を趣旨にクライミングの聖地を目指し進めている。
- ・クライミング専門職員による、クライミング体験会を実施し、スポーツクライ

ミング競技の普及振興に努めた。

- ・毎月の職員会議で利用促進目標を定め、利用促進や結果の反省を次に結びつけるよう努力した。また、利用促進班と広報班を設置し、施設をより活性化する活動を行った。
- ・鳥取県と倉吉市と県山岳・スポーツクライミング協会と連携し、全日本ユース選手権ボルダリング競技大会を誘致し、運営に協力した。
- ・職場体験等については、例年受け入れしている河北中、西郷小学校町探検隊の受け入れを行った。
- ・河北中学校生徒による、車椅子を使用した体験に施設を提供した。
- ・高齢者、障がい者を対象とした「中部スポーツ教室」、障がい者を対象とした「障がい者スポーツ教室」、親子で参加ができる「トランポリン教室」を実施している。また、スポーツだけでなく文化を楽しむ「夏休み文化教室」等多彩なイベントや教室を開催し利用促進に努めている。
- ・あいサポート企業として、あいサポートメッセンジャーに2名配置している。
- ・県の施策の「カーボンオフセット」に協力するため、ペットボトルのキャップの収集を継続して実施している。また、車いす等の寄附を行うためアルミ缶のプルタブ回収を実施した。
- ・県が切り花の生産技術の向上支援をしているシンテッポウユリを飾り利用者に周知した。
- ・利用者サービスの向上のためカード決済、電子マネー決済を導入した。
- ・新型コロナウイルス感染症予防対応として、ドアノブや手すりなどを定期的アルコール消毒した。
- ・応急手当推進事業所認定を受け、安心安全な施設管理運営に努めた。

■今後の取り組み等

- ・2人体制の受付を継続するとともに、利用者の声を反映させ、より充実した体制を整えていく。
- ・有料掲示板の広報等をさらに行い、収入増を目指すとともに地域活性化に尽力する。
- ・職員の資質向上のため、各種研修会への参加や各種資格の取得を促進する。
- ・職員のスキルアップのための研修会を開催する。また、他団体が実施する各種研修会に積極的に参加する。
- ・応急手当推進事業所として、万が一に備える体制を整える。
- ・収入増を図るため、追加イベントを計画し実施する。
- ・教室の参加者増を図るため、広報に力を入れる。

(2) 倉吉自転車競技場の管理運営 13,238 千円 (7,071 千円)

①倉吉自転車競技場管理運営 7,181 千円 (7,071 千円)

職員 2 名を配置し管理運営を行う。

②倉庫新設工事設計 1,657 千円 (0 千円)

新たに敷地内に倉庫を新設するための設計を行う。

③トラック (走路) 改修設計 4,400 千円 (0 千円)

トラックが経年劣化しているため改修工事を行う。

- ・全国、国際大会等の誘致を促進するため、県や各団体と連携を密にしていく。
- ・ボランティア団体と連携し、施設及び周辺の美化活動を強化する。
- ・鳥取県と連携し、今以上に障がい者、高齢者に優しいより良い施設環境を整える。
- ・利用者の皆さんに日頃の感謝をこめて「第 13 回スポーツと文化のまつり 体文祭」を定着させ文化団体と協力、当館の文化教室の作品やクライミング関連の展示を行うとともに、クライミング体験会を実施する予定。
- ・クライミング施設が JOC 拠点施設に認定されたことを、多くの県民の方に知っていただくため PR をしていく。
- ・会館棟で実施できるスポーツ教室について検討する。

(2) 12,994,665 円 (6,906,613 円)

①7,270,665 円 (6,906,613 円)

・管理体制

場長 1 名 (倉吉体育文化会館館長が兼務)

職員 2 名

・サイクリングフェスティバルの開催

春のサイクルフェスタ

期 日 令和 1 年 5 月 5 日 (日)

会 場 倉吉自転車競技場

参加者 選手・保護者 128 名、役員等 29 名 合計 157 名

秋のサイクルフェスタ

期 日 令和 1 年 10 月 13 日 (日)

会 場 倉吉自転車競技場

参加者 選手・保護者 66 名、役員等 28 名 合計 94 名

②1,512,000 円 (0 円)

便所・倉庫棟改築工事に係る設計を実施。

③4,212,000 円 (0 円)

走路改修に係る設計を実施。

<収益2>自動販売機設置事業 7,405千円(7,216千円)

本会が管理する公の施設に、利用者の利便性の向上を図るため自動販売機を設置し、自動販売機手数料による収益事業を実施する。

(単位：千円)

	布勢総合運動公園	鳥取産業体育館 鳥取屋内プール	皆生市民プール	米子産業体育館	武道館	合計
収入	10,150 (9,700)	2,606 (2,500)	1,300 (1,250)	2,000 (1,500)	3,100 (3,000)	19,156 (17,950)
支出	3,874 (3,698)	982 (966)	588 (588)	670 (680)	1,291 (1,284)	7,405 (7,216)
収益	6,276 (6,002)	1,624 (1,534)	712 (662)	1,330 (820)	1,809 (1,716)	11,751 (10,734)

()内は前年度数字

<収益2>4,313,149円(7,066,817円)

自動販売機設置状況

(単位：円)

	布勢総合運動公園	鳥取産業体育館 鳥取屋内プール	皆生市民プール	米子産業体育館	武道館	合計
収入	9,047,443 (9,421,172)	2,278,826 (2,369,043)	1,046,849 (1,108,153)	1,453,987 (2,084,460)	2,779,354 (2,860,217)	16,606,459 (17,843,045)
支出	3,086,017 (3,638,659)	184,131 (947,065)	569,932 (572,871)	156,421 (645,574)	316,648 (1,262,648)	4,313,149 (7,066,817)
収益	5,961,426 (5,782,513)	2,094,695 (1,421,978)	476,917 (535,282)	1,297,566 (1,438,886)	2,462,706 (1,597,569)	12,293,310 (10,776,228)

()内は前年度数字